

令和4年度 第5回美郷町教育委員会議事録

日 時 令和4年8月29日（月）

13時30分～15時00分

場 所 役場本庁舎3F 会議室

〈出席者〉 阿川教育長、難波委員、大草委員、兒島委員、梅原委員  
吾郷課長補佐、岩谷課長補佐

〈欠席者〉 漆谷教育課長

〈議 題〉 令和3年度教育委員会事務事業評価について 【承認】

岩谷補佐 ただいまより、令和4年度第5回教育委員会を始めさせていただきます。初めに、教育長、挨拶をお願いいたします。

教育長 皆さん、お忙しいところありがとうございます。学校は2学期が始まって、若干コロナの関係で欠席があるようですが、本当に落ち着いてスタートしております。

はじめにのところで、配った資料の中に知事がですね、コロナで部活動をやめるっていう話題。部活はやめるのに、飲食店はやるという記事。ただ、大会が近いので、新人戦とかですね、もろもろの運動部は大会が近いので、実質ほとんど休まない、特例で1ヶ月休まないでいいですよっていうのが出てる。ですから今回文化部とか大会のない部は、2週間ほど休部というような形になりますけれども、致し方ないかと、今回は。私は郡の方はやるつもりでしたけれども、市の方が先に、直接知事から要請があったようです。浜田管内も足並み揃えようということで、今までやってきているので受け入れるということにいたしました。その記事をいくつか載せております。

これは、皆さんも新聞でお読みになったかと思いますが、給食の無償化についてですね。今回、交付金を使って。無償化はうちだけですかね？

吾郷補佐 他の町村であるかもしれませんが、7月末の臨時議会の時には、美郷町だけでした。隠岐の島町とか検討しているという話はあったんですが。

教育長 半年のことですけれども。補償もですけど、しっかりと食べてという話をしております。クリップどめの最後のところで、今回の中国大会に出場した、剣道部、吹奏楽部の生徒の一覧を載せております。吹奏楽部は中国大

会でも金賞をもらいました。2年連続でしたね。立派だと思います。

私の方は、簡単に報告いたしますが、ざっと見ていただきたいんですけども。2番目、国土交通大臣表彰ということで大和中学校が、以前からの活動が認められて、校長先生は先週、知事から表彰状をもらって帰りました。それから先ほどの吹奏楽の、金賞。4番目。

インターハイ高校総体のカヌー会場。資料を付けておりますが、もっと、早く決まっておったんですけども、広島も山口も全て決まってからというような話をしておまして、結局、まだ鳥取、広島、山口は調整中できていないということではなかなか、厳しいのかなと思いながら。おかげさまで、決まりましたけど、あとは気運を盛り上げていかないと。国民スポーツ大会がメインにしても、インターハイが令和7年、令和6年はプレ大会をやったり。艇庫建設もプロポーザルが終わって、ほぼ決まりましたので、来年度に完成かな。6年度プレ大会にはもう完成してるので、いろんな準備云々したら、間もなくでございます。

会期は今日まででよろしいでしょうか。会議録の方は次回にお願いします。(全員同意)。それでは私の方から。この夏いいことも悪いこともいっぱいありましたけれども、5番目は新聞記事も載せてますけど、個人情報、間違っって、全家庭に送ったと。

6番目の揖屋小学校の若い先生。無くならないですね。この間はスカートで今回は写真、何でかなと思います。7番の部活動地域移行について、皆さんには、まだはつきりしないところもあったりで情報を伝えておりませんでしたけれども、島根県では、美郷と浜田と雲南が事業に選ばれて実践もして、それを文科省に報告することになっております。ちょうど私が中国地区の教育長会で、発表をする機会を得たこともあったり、山陰中央新報が取材に来たいということで、話題に上がるようになりました。その資料もつけております。

そして8番目、今度は文化庁ですけど、文化部の部活移行を7年度末までにやってしまうというような方向性を出しました。最終的には、芸術の部活動もやめると言っております。学習指導要領も部活動という言葉がなくすと思います。いよいよ学校から部活動というものが、なくなってしまう。その中で、国スポの雰囲気も盛り上げ、子供たちのスポーツ、地域のスポーツもそうですけど、そういう体制というか展開をしていかなければならない。これはもう学校だけの問題ではないってところです。子供の人数もだんだん減ってきますから。

それから9番目、全国学力学習状況調査。まだ詳細な分析は指導主事が

またやります。邑智中学校、数学、理科、国語もですけど、上は全国と比べてで、県レベルかそれ以上ですね。

児島委員       すごいですね。

教育長       大和小は去年ちょっと落ち着かなかったこともあったり。大和中の数学はいけません。人数が少ないので1人でも苦手な子がいると、影響を受けるんですけど、邑智中は久しぶりに良かったですね。

いよいよ学力テストもタブレットで。アンケートなんかはもう来年からタブレットを使うと。それから、学校基本調査の速報ということで学校数とか生徒数とかの表を載せておりますので、ゆっくりとご覧いただきたいと思います。私の話は以上です。

では今日の議事に入ります。令和3年度事務事業評価について、先週、外部評価委員会の意見を加えたものを皆さんにお配りしております。

吾郷補佐       事前に配布いたしました事務事業評価総括表ですけど、教育委員会外部評価委員会の方の名簿が載っております。この方々に集まってもらって、説明いたしまして、評価をいただきました。

主なところを説明させていただきます。1番目、まず学校教育、1、基本方針、社会を生き抜く力の育成の説明をさせていただきます。まず1番目、基礎学力定着のための環境整備、こちらの取り組みとしましては、GIGAスクール構想を踏まえ、今後のICT機器の導入方針の年度、整備計画策定とするということを挙げてますけども、令和3年度といたしましては、ICT機器の導入更新年度整備計画を策定できなかったということで、3年度未策定としております。こちらはですね、外部評価委員さんからは、「計画策定できていないのであれば、事業評価をBということではどうか、概ね期待通りで良いのか」ということで、評価の説明を文言修正して「令和3年度に策定であったが、策定に向けての取り組みが進んでいる。GIGAスクール構想や美郷町ICT教育推進ビジョンを踏まえ、美郷町らしいICT教育のあり方を検討する。教育委員会と町内4校は連携して計画を立てて進めていく」と記載しております。

続きまして3番目、家庭学習の習慣化ですけれども、こちらの取り組みといたしましては、家庭学習時間の確保と内容充実、タブレット端末の家庭学習での活用、学習支援館の学習サポートを挙げておりまして、まず家庭学習そのものにつきましては、3年度は家庭学習の時間の確保と内容の

充実を図りました。タブレットの持ち帰りと活用について各校で試行しまして、成果指標としましては小学校 40%、中学校 54.2%で課題ありとありますが、小学 6 年生としましては、評価説明課題の改善策としまして、スポ少などの活動やメディアとの接触時間の増加が考えられる。

家庭学習の意義や、自分に合った学びができるように啓発していく、またタブレットを家庭学習で活用することも試行を踏まえ、実施していくよう、学校へ流していきます。中学 3 年生につきましては、メディア接触時間の増加や、家庭学習に対して意識が低いため、家庭学習の意義や、自分に合った学び方を目指していけるよう啓発していく、また、タブレットを家庭学習で活用していくことや、学習支援館の利用により、家庭学習を平素から行う習慣づけをしていくというふうにしております。また、学習支援館を利用して町内の中学生に対し、全国模試受験の促しを実施しましたが、受験率は 32.1%ということで課題ありとしております。今後は学校と連携しながら周知し、受験率を向上させていきたいとしております。

5 番目の GIGA スクール構想の推進です。主な取り組みといたしましては、ICT 教育推進計画策定推進、ICT を活用した授業づくり、オンライン学習のための環境整備とスキル向上、プログラミング学習の充実、情報リテラシー及び ICT 活用能力の向上を挙げております。令和 3 年度は美郷町 ICT 教育推進ビジョンを策定し、オンライン学習のスキルアップを目指して、職員研修実施ということを挙げております。事業評価は概ね期待通りということで、美郷町 ICT 教育推進ビジョンを策定し、その中で、ICT 活用能力の育成について示しているとしております。

続きまして 9 番、いじめや不登校の起きない学校づくりです。主な取り組みといたしましては、望ましい学級集団づくり、いじめ早期発見、適切な対応、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携しての不登校対策を挙げております。

令和 3 年度の事業内容としましては、各学校の職員間の共通理解をはじめ、校内研修、道徳や学級活動における指導、相談体制の充実、いじめ防止基本方針の点検と見直しなど組織的に対応していくとしております。

いじめの認知件数のうち、解消した割合を、数字であげてますが、こちらは 85.7%で「課題あり」にしております。説明といたしましては、小学校において特定の児童による暴力行為を繰り返した実態が読み取れ、児童の実態、特性を把握し適正な指導、支援を検討していく必要があるとしております。

最後に 11 番、インクルーシブ教育の強化を上げております。こちらの

取り組みといたしましては、子供たちの特性や背景を理解する方法や能力を高める研修の実施を挙げております。今年度未実施でありまして、新型コロナウイルス感染症のため、実施の見通しは立ちませんでした。今後は、インクルーシブ教育をはじめ、特別支援教育に関わる状況を見て、研修内容を検討するとしております。相談会は実施月に各学校保育園を通じて保護者へ配布、広報誌やIP告知の周知、これを今年度実施いたしまして、教育相談会年間周知回数は、3年度11回ということで、概ね期待どおりということです。

以上が学校教育係ということで、1の社会を生き抜く力の育成について説明させていただきました。続きまして、これ2番目3番目ですけども、こちらは社会教育ということですので、岩谷課長補佐の方から説明します。

岩谷補佐

はい。それでは、私の方から説明をさせていただきます。2枚目の資料をご覧ください。

14、地域づくりを担う人づくりです。具体的には、みさと一くの取り組みの説明をご覧のような内容で、説明をさせてもらっております。

それから15、文化財の価値づけと維持保存、次世代への継承、というところでは、委員さんからのご意見として、石見銀山街道を学ぶ学習や中原芳煙だけでなく、江の川の歴史も対象にするというのではないかとというご提案をいただきました。歴史に関してはまだ取り組みはしてないですけども、公民館や学校の取り組みの中で、江の川に関する取り組みってというのは幾つかございます。状況を今一度確認をして、来年度に向けて検討してみたいと思います。委員さんの意見で、13のところで、将来の美郷町に住みたい帰ってきたいというのがありますけれども、現状ですね、62%ということで、報告をさせてもらっています。教育長の方から、できるだけ80%目指したいという話をした時に、保護者さんとか委員さんからは、それが普通じゃないかなと言われて、個人的には軽いショックだったんですけども、何か、今が楽しければもうそれでいいんじゃないかみたいなことを言われて、ちょっと意外だったんですけども。とはいいいながらも、我々としては、80%を目指していきたいと思っております。

26と27について、図書館の機能充実とスポーツを通した青少年の健全育成です。その中でも、移動図書館の拠点施設、9ヶ所ということになっております。こちらの方、目標15ヶ所なんですけれども、人員的に非常にいっぱいいっぱいのところになっております。図書館の職員とお話をしたんですけども、現地にボランティアがいれば、まだまだ拠点を増やせ

るということです。図書館のボランティアさんをこれからは募集していく必要があるのかなというふうに思います。

それからクリスマス会の後、公民館のお話会の回数ですけれども、3回ということで、目標達成してるんですけれども、これはクリスマス会や公民館でやらせてもらっています。

それから、スポーツを通した青少年健全育成の関係ですが、体協の取り組みが7回となっています。グランドゴルフ、陸上の方で駅伝大会、カヌーフェスタといったところです。体協の部の半分はコロナウィルス感染拡大で活動ができなかったんですが、一部では取り組みをしたということです。

カヌーサポーターですが、昨年の実績としては58名でした。こちらは目標を大きく上回ることができました。サポーターの仕事としては、カヌーイベントの普及啓発の取り組みの機会を作って、その時にいろいろお手伝いいただいたりとかを想定していますが、これから検討していきたいと思っております。

その他ですけれども、19、20の学校運営協議会ですが、今年度、コミュニティスクールの検討を進めています。以上です。

吾郷補佐

以上、基本方針3点につきまして事務事業評価を説明いたしました。この表の1番右に外部評価委員さんの意見として挙げられた内容をまとめております。

先ほど岩谷課長補佐から15番で指摘があったという内容を記載してあります。基礎学力定着の環境整備の部分に記載してありますけれども、指摘があった内容を踏まえまして、文言修正を行ったりしております。3番目の学習支援館につきましては、全国模試受験率が上がればいいのか、学力向上に繋がるかどうかとか意見ありましたけども、まずは試験を受けることからということで。もちろん結果が良くて向上に繋がれば一番いいんですけど、まず受けることで自分の実力評価をしていくことが大事ということを説明しております。

また6番、7番、8番、それぞれ小学校中学校で項目分けして評価、課題の改善策を記載しておりますけども、小学校中学校で記載内容が同じなのはどうか、もっと具体的に記載してもらいたいとありましたけども、小中学校とも同じ対応ですので、そのままにしています。

また9番のいじめや不登校が起きない学校づくりにつきましては、評価委員さんからは、転入時の人間関係づくりに努力をして欲しいという意見

をいただいております。評価の説明とちょっと若干食い違いはあるんですけどそういった例もあるということで、それは真摯に受けとめるべきかなというふうに話をしております。以上です。何かご意見等あればと思います。

梅原委員        11 番ですが、未実施で B 期待通りと書いてありますが、実施してないのに、これはどういう説明なんですか。

吾郷補佐        これは、最終年度令和 7 年度に 1 回できればという目標を立てています。評価の説明課題改善策としましては、今後インクルーシブ教育、特別教育支援に関することはこれから学校教育で重要になってくるので、できるだけ早期にできるようにと考えています。今年度を実施していければなというふうに考えております。概ね期待通りというのは、当初 7 年度に 1 回としていますが、それに向かってやってきているということです。

兒島委員        令和 4 年、5 年、6 年のところもここに上がるとすれば、未実施っていうのが 7 年までにできればということですよね。

吾郷補佐        はい。

兒島委員        意見で上記と同じとかというふうに出たところがあるんですけど、自分にいいところがあると感じている児童生徒の割合のところ、小学校と中学校で、評価は課題ありと概ね期待通りといったところで、中学校なんかは 80% で 7 年の目標値を上回ってる。確かに言われるように違いはあるんじゃないだろうかと言いたくなるだろうなと思いますね。かたや超えている、かたや課題ありというところで同じ評価内容っていうのはちょっとどうなのかなというのはあるかもしれないですね。

教育長        9 番のいじめ云々については、ストレートに言うと大和小学校の I ターンや U ターンの親子、大和というところは地域にはずっと溶け込まれる。でも学校ではちょっといろいろあって学校に行きたくないっていうようなケースがありました。そのことをおっしゃってるんだろうとは思いますが。

兒島委員        何かこうもうちょっと表現の仕方を工夫したほうが良いかもしれないですね。

教育長           この解消の割合っていうのはどこから出てくる数字ですか。

吾郷補佐           これは毎年の調査で指導主事の方に上がってくるものです。

兒島委員           いじめとして認知されたものがあって、それがどれだけ解消されたかについてというのが、85.7%あったということですよね。

教育長           暴力行為というのは、問題行動報告書ではないかと。

難波委員           問題行動ぐらいでもいいかもしれませんね。本当の話、解消したんですか。

大草委員           解消してないんじゃないです支援を検討していく必要があるって書いてあるから。でもこれは変なことですね。

難波委員           他のページは、3 番、26 番。館内環境の整備のコンマの位置を修正してください。それと、同じく一番下のカヌーサポーターの登録人数が 58 人ですが、目標 100 人で 0 から見て 58 になったのが大きく、上回ることができたという表現なんですか？58 人というのが何を根拠に大きく上回ることに？

岩谷補佐           長期総合計画の中で年度ごとの目標値があり、それと比較したということです。

兒島委員           7 年の目標に対してどうか。

難波委員           確かに大きく上回っているけど。

兒島委員           100 人達成してないじゃないかと。

教育長           年間目標のところ（ ）何人と書いておきますか。

大草委員           3 年度の目標人数と比べるとか。

- 吾郷補佐 括弧書きで、目標と現況を書いたほうがいいですね。
- 兒島委員 未実施で概ね期待通りの部分も、目標としては今年度いろいろ検討することで達成するといったところがわかるといいですね。
- 難波委員 もうちょっと説明を追加してほしい。
- 大草委員 この事業評価って難しいですね。これは何がどのように関わってるのか、本当に評価していいのかどうか。
- 兒島委員 なかなかその指標が難しいですね。
- 教育長 施策とか、主な取り組みが大事で、それに何か無理やり成果指標をつけて、実は、学級経営とか、早期発見に努めてる、それがメインなんだけど薄れちゃうんですね。
- 兒島委員 そうなんですよ。
- 難波委員 結果だけが表に出てきて。
- 教育長 しかも、事象が上がって、解消が80、90%ぐらい。解消したのなら僕は完全期待通りだと思うんですね。でもそこは行政で総合計画だから何か指標がないと。
- 吾郷補佐 道路を何キロ作りますとか、目標とそれに対してのコストとか説明しやすいんですけど、教育で果たしてそれができるか難しいところとかも出てきます。
- 教育長 では、議事の方、ありがとうございます。今度は、全員協議会で報告し、それからホームページで公表ですね。はいありがとうございます。その他のところカヌー艇庫プロポーザルについては、何か資料がありますか。
- 吾郷補佐 皆さん、回覧していただくんですけど、この前の金曜日にカヌー艇庫基本設計業務の第二次審査が行われました。3社ありまして、町長、副町長、

総務課長、会計課長、建設課長、教育長と私で審査いたしまして、こちらですね、スタジオ YY。サテライトオフィスの設計業務を受託されたところに決まりました。ちょっと見ていただければと思うんですけども、バリの様式を踏まえた内容で、事前に美郷町に来て美郷町の状況を踏まえて提案されたところです。

難波委員        道路整備はされませんか？せめてダム側は。国道がちょっともう無理だから。

吾郷補佐        国道から信喜橋を渡って会場まで行く事になります。インターハイが令和 7 年、プレ大会が令和 6 年で、橋をかけ替えるのは・・・。

難波委員        橋は難しい。一方通行にした方がいいと思う。

教育長            もうインターハイまでにはやらないと間にあわない。でもお金がない。国民スポーツ大会でどうやってお金をとるか。確かに段取りがね。あっちルート周りですね。

難波委員        そうです。

教育長            信喜が今後どういうふうに変わっていくかです。来月は 9 月 28 日の水曜日どうでしょうか。（全員同意）では、9 月 28 日水曜日に教育委員会を行います。以上で終わります。